

新しい事業モデルの確立 「子育て支援」と「商店街の活性化」を 融合させたワンコインカフェ

ライラック
サンプリング&カフェ

久が原銀座商店街振興組合
(大田区久が原、泉淑子理事長、
03・3752・3627、<http://www.lillac-ave.com>)は、東急池
上線久が原駅西側に伸びた『ライ
ラック商店街』の名で地域に親
しまれている。現在、不動産業・
美容業が中心の同商店街だが、
2000年代に入り、大規模小売
店舗法の廃止などの規制緩和や
各店舗の後継者不足も深刻で勢
いを少しずつ失ってきている。

そんな中、今年1月に空き店舗
を活用した子育て支援拠点『ライ
ラックサンプリング&カフェ』
(営業時間・9時〜17時)がオー
プンした。「一口にカフェと言っ
ても、特色を打ち出さなければ人
集まらない」と、泉
理事長が中小企業診
断士など専門家の協
力を得て実現したの
が、食品などのサン
プルを来店客全員に
プレゼントするこ
と。入場料500円
で、ソフトドリンク
と現品3点セットの
サンプルが3種類
の中から選べる。

設備や人的な問題
でフードメニューは
断念したものの、商
店街で購入した商品
であれば持ち込みを
可能にし、商店街の
回遊性を高め地域の
活性化を図る。加盟



大田区モデル商店街事業として表彰も受ける

報を発信していく。
[www.facebook.com/
cafe.lillac2016](http://www.facebook.com/cafe.lillac2016)でも情



選べるサンプルセットが並ぶ

した。商店街の買い物
がてら、あるいは保育
園への送迎ついでに
ママ友たちがワンコ
インで気軽に過ごせ
る憩いの場となっ
ている。

店や市民の手作り品などを販売で
きるほか、運営には自身も子育て
中であるスタッフを採用して、カ
フェの奥に来店者の子どもたちが
自由に遊べるプレイルームも配置



商店街のシンボル「ライラック」をあしらった店頭